



岸本周平
Kishimoto Shuhei
中央大学客員教授

<http://www.shuhei-k.jp>
<http://blog.goo.ne.jp/shu0712>

ドブ板からの コミュニティー論

ドブ板の日々が続いています。毎週月曜日の朝は、午前6時45分から南海和歌山市駅前で1時間。その後、移動して、8時からJR和歌山駅前で1時間、街頭演説をします。これで一週間の政治活動のスタートを切ります。その後は、ひたすら一軒ずつ、後援会申込書を書いてくださったお家や、支援者に紹介いただいたお宅を訪問します。

企業訪問もします。会社の社長さんが「よっしゃ、任しとき！内の社員は50人やさかい、家族合わせて150票や！」とおっしゃってくださいても、今どき、社長の言うことを聞く社員さんは多くありません。「社長、おおきに！そしたら、今度、朝礼呼んでくれませんか」と、すかさず朝礼のアポイントを入れてもらいます。顔と名前を覚えてもらってなんぼですからね。

ドブ板の基本は地元です。市会議員の選挙ではないのですが、住んでいる地域で圧倒的な支持がなければ、国政だって当選は無理です。今、私が住んでいる和歌山市の広瀬地区は出身地で、小学校時代の同級生が大勢住んでいます。ここは、特に地域活動が盛んな所です。公民館やPTA、あるいは「交通安全母の会」といった各種団体が主催する行事が頻繁に行われます。盆踊りは言うに及ばず、就学前の子どもから、小学2年生までを対象とする「ちびっ子運動会」に「バザー」、秋のバスツアーなど大掛かりなイベントを地域住民が主体的に実施しています。

先日、公民館主催のバスツアーに行ってきました。公民館には市の職員が2、3名おられますが、地元市民も職

員の任命を受けていて、市の補助金をもらって事業をしています。お弁当付きで一人2,500円の日帰りバスツアー「高松塚古墳見学とハイキング」は、申込日の午前中に80席（バス2台）のチケットが完売の大人気です。

参加者のほとんどは引退されたおじいちゃん、おばあちゃん方です。今回のツアーは平均年齢が70歳を超えまし



た。高松塚から石舞台古墳までの約3kmの遊歩道をハイキングします。足に自信のない方は、バスでの移動が選べます。私を含め10数人のスタッフは道案内や、歩けなくなった方のためのおんぶ隊要員です。昨年の高野山ツアーでは、おじいちゃんを一人おんぶしたそうです。幸い今年は平坦なハイキングコースのためか、一人の落伍者もなく、私も誰かをおんぶすることなく、バスツアーを楽しめました。

このような地域のイベントを繰り返すことによって、住民の皆さんがお互いの顔と名前を覚えあって、親しくなっています。その温かい雰囲気の中に入れてもらって、「地域力」のパワーを感じています。子どもたちの見守りも、祭りや盆踊りを通じて自然にできています。全国には、広瀬地区のような「地域力」のあるコミュニティーがまだまだたくさんあるはず。ドブ板活動を通じて、この「地域力」が日本を救うという確信ができてきました。ちなみに、バスツアーの日、遊歩道を歩いていたら、途中で聖徳太子の生まれた橘寺がありました。「一願成就」の鐘がありましたので、「当選必勝」を願って、撞木を思い切り強く撞いてきました！

